

会 議 録

会議の名称	令和7年 第7回 白岡市教育委員会定例会
開催日	令和7年6月12日（木）
開催時間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時25分 閉会
開催場所	白岡市中央公民館 3階 集会室
教育長の氏名	横 松 伸 二
出席者（委員等）の氏名	横 松 伸 二 小野目 如 快 山 崎 美佐江 福 永 肇 和 田 玲 子
欠席者（委員）の氏名	
説明員の職・氏名	教育部長 長 谷 川 亘 教育総務課長 高 澤 憲 司 参事兼教育指導課長 蓮 見 宣 宏 生涯学習課長 岩 楯 浩 志 魅力ある学校づくり推進室長 齊 藤 健
事務局職員の職・氏名	教育総務課主幹 神 田 晶 子
点検評価員	—
会議次第	1 開会 2 日程第1 会議録署名委員の指名 3 日程第2 臨時代理等報告事項 第1 区域外就学について 第2 就学すべき学校の指定の変更について 第3 専決処分の報告について（補正予算） 第4 専決処分の報告について（令和6年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書） 第5 専決処分の報告について（英語指導助手就業規則の一部を改正する規則） 4 日程第3 その他の事項 その他1 5月の教育委員会諸事業結果報告について 5 閉会
配布資料	別添のとおり
傍聴者数	2人

1 開 会

教育長 出席委員 5 名、定足数に達しており開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

教育長 市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、山崎委員及び福永委員を指名した。

教育長 日程第 2 の臨時代理等報告事項、第 1 及び第 2 は個人情報を含む内容であるため、非公開で行いたいが如何か。

委員 (異議なし)

教育長 異議なしと認め、報告事項第 1 及び第 2 は非公開で行う。また、審議の順番を公開案件からとする。

3 臨時代理等報告事項（教育長報告）

※先般の庁舎火災により 5 月定例会の開催を中止としたことにより、白岡市教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第 4 条第 1 項に基づき教育長が臨時に代理して専決したものを報告した。

第 3 専決処分の報告について（補正予算）

【説 明】 (報告第 3 について、教育部長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A 委員 白岡中学校の給食室の改修費用をどこで借り入れたか。
また、中学校債で借入を追加したとあるが、工事費との差はどうなるのか。

教育総務課長 税収等の一般財源で賄う。

A 委員 教育債として残るが、額が大きくないか。

教育総務課長 過去からの蓄積で、長期にわたるものである。

A 委員 教育費用に対する借金割合が大きいのではないか。

教育総務課長 借入期間は 30 年であり、計画的に借り入れている。
積極的に地方債を発行することを市の方針としている。
交付税で交付されるものもある。

【承 認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第 4 専決処分の報告について（令和 6 年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書）

【説 明】 (報告第 4 について、教育部長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

B 委員

レファレンスサービスとバリアフリーサービスについて説明いただきたい。

生涯学習課長

レファレンスサービスとは、こういう本を読みたいとか、研究に役立つ参考資料について相談を受ける窓口サービスの名前である。白岡になれば、取り寄せるなど、その人の学習したいものに合わせて相談を受けるサービスである。

バリアフリーサービスとは、体の機能の弱い部分を補助するもので、分かりやすい解説がついているとか、目の不自由な方の点字や文字が大きい本等のことである。

A 委員

貸出人数が延べ人数なので、実人数を伺いたい。図書館に来た人はどんな人で、市外が何人か等がわかれば実態が分かりやすい。

また、レファレンスの件数が多いように思う。特殊事情があって件数が多いのか。

生涯学習課長

実人数については、今後出していきたい。

教育長

誰が何冊くらい出しているかが個人情報に関わるが、個人情報に抵触せず、統計が出せるか。

生涯学習課長

毎月統計を出しているので、すぐ出せる。

教育長

何をどのように出しているかについては個人情報に触れることもあるので、数字が出せるか検討してから願います。

生涯学習課長

これから夏休みになるので、小・中学生から自由研究や読書感想文などについて聞かれることが多い。

C 委員

学識経験者が点検・評価の達成度を出すのか。

教育総務課長

職員が達成度を出している。評価の判断基準において、評価委員が評価を付けている。

C 委員

文化財関係に A が多いように思う。

教育総務課長

点検評価員の 2 名のうち、1 名は学校と教育総務関係を、1 名は文化財と生涯学習関係を見ている。見方の差があるかもしれない。

教育長

文化財は長期にわたることが多いので、その時の事業で成果を出している。

A 委員

民間企業の人事査定では S・A・B・C・D の評価であり、S、A でなければ評価は良くない。ここでは C 以下

がないので頑張っているという感想を持った。

B 委員

図書館ボランティア連絡協議会のことがいくつか同じように書いてある。図書館ボランティアはどのようなメンバーなのか、概要を教えてください。

生涯学習課長

メンバーの名簿は手元にない。ボランティアが活動の代表の会議、図書館まつりなどの催しを、このメンバーが中心になって活動していると聞いている。

B 委員

学校に配置されている図書支援員とは別か。

生涯学習課長

そうである。支援員の私的活動として休みの日にボランティア活動をしている方もいるようである。

D 委員

家庭教育アドバイザーは、毎年同じ人か。内容はどのように決めるかについて伺う。

生涯学習課長

家庭教育アドバイザーは P T A から選出され、各学校から派遣されている。子供たちに何が課題となっているとか、こういうことを話して欲しいということで派遣されている。各学校で何人来た等については把握していない。

D 委員

評価基準が難しく評価が付けにくいと思う。主観での評価か。

生涯学習課長

評価委員の判断であると思う。活動の中での課題の解決に対して評価を受けている。

教育長

補足する。活動をやっていることに対する評価であり、内容が良かったという評価ではない。

D 委員

項目の優先順位はあるのか。評価項目が細かすぎるのではないか。総括して見られる方がかえってわかりやすいと思う。

学校教育の充実について、これを出来るようにするために、これが出来れば A というように、事例に対して細かく書いてあるが、子供の成長に何が必要かという根本的な、肝となるものが必要であると思う。

教育総務課長

教育振興基本計画に目指すものが書かれていて、それが点検評価シートの大元となっている。細かいため本来の目的が見えにくいと思うが、各課でやっている事業などをお知らせする目的もある。

他自治体もここまで細かいのはない。正直細かく作ることが目標となっているところもあるので、今後検討す

る。

A 委員

外国人児童生徒の日本語教育について伺う。日本語指導が必要な生徒数が増えているように思うが、外国人生徒の定義、判別は国籍か、日本語指導が必要であるという観点からか。

参事兼教育指導課長

外国人の児童生徒で、日本国籍でないことを言っている。日本国籍であれば義務教育は自動的であるが、外国籍の子は就学義務がなく、就学願いを出してもらっている。就学願いを出して小中学校に通っている子をカウントしている。日本国籍でも親のどちらかが外国語で、日本語の習得に差が生じるので、学校から日本語が難しいという話になったら日本語指導の支援員を派遣する。数は一致するものではなく、どちらが多いこともある。生育環境による。

A 委員

外国籍だが住民票を持ち、しかし保護者が就学願いを出していない場合、学校に行かない子もいるのか。

参事兼教育指導課長

今のところは案内をして、全員が学校に来ている。年度途中だと習得後に通わせるということもあったが、現在は周知し手続きしており、学校に行っていない子はいない。

A 委員

アメリカンスクールや朝鮮学校など、他の国の学校に行っている場合もあるのか。

参事兼教育指導課長

選択してそちらに行っている外国籍の子は、今はいない。

D 委員

“ふるさと白岡”に対する理解を深めることと同時に、日本人が外国の人に日本のことをきちんと説明できることも大切だと思う。国際理解は、まず自分の国を理解し、他の国の文化なども理解して認め合うことが大事だと思う。社会は常に変化しているが、「白岡」の持つ力を生かしながら、残すべきことや変えた方がよいこと、資質能力の育成などが含まれた、評価の項目があれば良いと思う。

B 委員

社会教育充実、市民ニーズ、子供の読書活動の課題の今後の対応方針に、これまで関わりのなかった団体等の連携を図るとある。提案になるが、幼稚園や保育園の先生を相手に読み聞かせをするのが良いと思う。新たな感

動を呼び起こされる経験をしたので、そんなイベントを入れていただくと、子供に接している人なので、子供への波及効果があるのではないかと思います。

ランチタイムコンサートの開催とあるが、ランチタイムコンサートが開催できるように庁舎設計に盛り込むのか等、今後について伺いたい。レイアウト1つで、出来るかが変わるので、考えを伺いたい。

教育長

今後の検討である。

C 委員

不登校児童について、不登校と見なされる人数を入れた方が良いのではないか。

参事兼教育指導課長

把握はしているが記載も含め、今後検討する。

教育長

時点の捉え方で難しいが、今後検討する。

【承 認】

（質疑応答後、全員異議なく承認）

第5 専決処分の報告について（英語指導助手就業規則の一部を改正する規則）

【説明】

（報告第5について、教育部長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】

A 委員

指導助手就業規則が英語指導助手だけなのはなぜか。

参事兼教育指導課長

英語指導助手就業規則は、以前、英語指導助手として市が直接雇っていたことがあったので、雇う際の決めごととしてこの規則に基づいていた名残である。今は派遣してもらっているので使っていない規則だが、白岡市として雇うことになるので、刑法が変わったことに伴い、他の規則に続き、上位の所で関わるものをまとめて改正した。

A 委員

英語版はないのか。

参事兼教育指導課長

当時、雇うに当たり内容を十分説明している。

【承 認】

（質疑応答後、全員異議なく承認）

4 日程第3 その他の事項

その他1 5月の教育委員会諸事業結果報告について

【説明】

（生涯学習課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】

A 委員

5月のイベントが3つしかないのは、火災の影響か。

生涯学習課長

そのとおりである。時期をずらして実施する事業はあ

る。

C 委員

ハンズオンデーで使用したのは、こもれびの森の保管の物か。借用した物か。

生涯学習課長

今回は借用した物を使用した。保管した物の時もある。

C 委員

保管の物を活用することを考えているか。

生涯学習課長

検討する。

D 委員

参加者の年齢層を伺う。公民館フェスティバルに参加する人が少ないとのことだが、利用者や活動団体だけなのか。コミュニティーセンターのふるさと祭りに若い方が踊っていたので、そのような団体が加われば、参加者も増えるのではないか。

おみくじの版木はいつごろの時代の物か。こもれびの森の見学をさせていただいた時、修復作業の様子や、撮影するための物などを大変興味深く見せていただいた。その様な内容の見学ツアーを組んでも面白いと思った。

生涯学習課長

紙飛行機講座は小学生の低学年を対象とし、幼稚園のきょうだいも参加していた。

公民館フェスティバルは公民館登録団体の発表の場として行っている。講座の後にサークル化を促している。その中で発表してみようという団体もある。利用者の発表の場として始まっている。活動している場所で発表したいようである。

こもれびの森見学ツアーは検討する。版木の年代は、今はわからない。

【承 認】

（質疑応答後、全員異議なく承認）

（傍聴人退席）

3 臨時代理等報告事項（教育長報告）

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

【説 明】

（報告第1及び第2について教育部長が概要を説明し、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。）

【質疑応答概要】

～非公開案件につき内容省略～

【承 認】

（質疑応答後、全員異議なく承認）

5 閉 会

教育長

以上をもって閉会を宣言する。

議事のとん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

議 事 録 署 名 委 員

議 事 録 署 名 委 員